

平成30年度補正予算 国際認証取得等支援事業 参考事例集

※平成29年度補正予算
国際認証取得拡大緊急支援事業 における取組

農林水産省生産局農業環境対策課
令和元年6月

参考事例一覧

1 有機加工食品認証を取得した事例

北海道オーガニックビーフ振興協議会（北海道）

株式会社GreenMind（兵庫県）

2 有機農産物認証を取得した事例

JAたじまコウノトリ育むお米生産部会（兵庫県）

飯田農園（愛知県）

北海道オーガニックビーフ振興協議会 (北海道)

事業実施主体の概要

北海道オーガニック振興協議会 (HOBA) は有機畜産 (特に肉用牛) の生産・流通拡大を目的に2017年4月20日に設立されました。

- 事業実施主体の構成員：生産者13/流通14/学術5/そのほか1
- 2018年度有機JAS格付実績：枝肉23頭、部分肉5t、精肉1.8t
- 主な事業：各生産者や流通関係のJAS有機認証を取得支援、オーガニックビーフ普及活動、生産者の増産、収益性の向上等の技術開発

成果 (2017年→2018年)

- 生産量(HOBA参加牧場内)：
3頭(2017年)→14頭(2018年)
- 有機JAS認証により販売価格が上昇**
- 有機JAS指定講習会受講者の増加：
10人(2017年)→47人(2018年)
- 有機JAS申請取得者数の増加：
1企業(2018年)→3企業(2019年 (見込))



有機JAS指定講習会釧路会場参加者

取組のポイント (取組期間：2017年～)

国内の肉用牛有機JAS認証は2009年に北里大学獣医学部附属FSC八雲牧場が取得して以降、約10年間普及が進んでいませんでした。協議会では、有機JAS牛肉の生産基盤拡大のために、海外への輸出も視野に入れた多角的な加工・流通販売モデルの確立を目指しています。

■新たな有機JAS取得に向けた取組

講習会を7回開催し、申請取得のための環境を整備

■輸出に向けた取組

オーガニックEXPO・JETRO台湾商談会に出展

台湾商談実施、GFP・JETROに登録し情報を共有化



オーガニックEXPO2018出展

一言アピール!

有機JAS牛肉生産は始まったばかりで安定するまでには時間がかかります。でも生産者、加工流通業者は環境を整備し前向きに取り掛かっています。これから徐々に生協やスーパーで販売してゆきますので、ぜひご賞味ください!



問い合わせ先：
北海道農政事務所
生産経営産業業務生産支援課
011-330-8807

株式会社GreenMind (兵庫県三田市)

事業実施主体の概要

- 生産している品目：米加工品（ベビーフード）
- 事業実施主体：株式会社GreenMind（代表取締役 高寺寿一）
 - ・2012年に農産物の加工による農業所得の向上並びに就農支援を目的に設立された農業法人。ゼロ歳からの食育をテーマにベビーフードの製造販売を通じ、米食文化の発信と米加工品の価値拡大に取り組む。

成果（2016年→2018年）

- 有機JAS認証取得生産量：
0 t（2016年）→ 1.4 t（2018年）



取組のポイント（取組期間：2017年～）

■有機JAS認証の取得

- ・国産米および米加工品の国内外での競争力と価値を高めるために、**有機JAS認証を取得**しました。



商談用多言語リーフレット

■輸出に向けた取組

- ・米の海外でのブランド価値向上とベビーフードの海外需要に応えるために、輸出を目指しています。国際的に通用する有機JAS認証の取得に加え、**多言語による商談リーフレットの作成**を行い、国産米と日本の伝統的離乳食文化の発信を行います。自社の強みを生かした越境ECの活用や商社への商材PRにより輸出に向けた活動を継続中。

一言アピール！

日本の伝統的離乳食文化の発信により国産米の美味しさが海外から評価されれば、農家と就農希望者の誇りになると信じ格闘しています！



JAたじまコウノトリ育むお米生産部会（兵庫県豊岡市）

事業実施主体の概要

- 生産面積：471.7ha（減農薬含む）
- 生産している品目：米（コシヒカリ）

安全・安心でおいしいお米と多様な生き物を育み
コウノトリも住める豊かな文化・地域・環境づくりを目指しています。

成果（2017年度→2018年度）

- 有機JAS認証取得面積：0ha（2017年）→14ha（2018年）
- 輸出金額：0円（2017年）→560,000円（2018年）
- G-GAP認証取得面積：0ha（2017年）→18ha（2018年）
- 輸出金額：0円（2017年）→690,000円（2018年）

取組のポイント（取組期間：2017年～）

■シンガポールへの輸出に向けた取組

・G-GAP米を輸出するため、現地の米販売事業者と商談を行い、輸出につなげた。

■オーストラリアへの輸出に向けた取組

・有機JAS米を輸出するため、現地コーディネーターにマッチングを依頼し国内外輸出事業者と商談を行い、輸出につなげた。



一言アピール！

コウノトリ育む農法によって環境にも人にも優しくこだわってつくった美味しいお米は、ネットで全国販売しております。ぜひご賞味ください！

※ 「成果」「取組のポイント」については、たじま農業協同組合 コウノトリ育むお米生産組合のうち、有機JAS認証等取得支援事業に取り組んだ組合員の取組・成果について記載しています。

問い合わせ先：
近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

飯田農園 (愛知県名古屋市)

事業実施主体の概要

- 生産面積：0.19ha
- 生産している品目：ミニトマト
- 構成員：5名
- 栽培方法：ビニール袋に有機質肥料を混ぜた土を入れて、苗を植える「袋培地栽培」を実践



成果 (2016年→2018年)

- 有機JAS認証取得面積：
 - ・ 0ha (2016年) → 0.19ha (2018年)
- 有機加工食品の生産量：
 - ・ トマトジュース 450kg (2016年) → 650kg (2018年)
- 輸出金額：350千円 (2016年) → 457千円 (2018年)



取組のポイント(取組期間:2018年～)

■ 新たな商品開発に向けた取組

- ・ FOODEX JAPAN2019において、トマト酢の需要が見込まれたため、**新たな加工品 (トマト酢) を開発。**

■ 輸出に向けた取組

- ・ ミニトマト及びミニトマトの加工品 (トマトジュース等) を輸出するため、3月に**海外バイヤーとの商談**を行い、2件の輸出につなげた。



一言アピール!

甘いトマトはいくらでもありますが、有機栽培で日本一甘いミニトマト目指しています。
詳細はこちら→ <https://www.iida-farm.jp/>

問い合わせ先：
東海農政局生産部生産技術環境課
052-746-1313